



hvc
human health care

証券コード： 4523

2014.3

参 考 資 料

平成 26 年 3 月期決算

2014 年 5 月 13 日

お問い合わせ

PR 部・IR 部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>

【将来予想に関する事項と事業等のリスク】

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりです。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、ジェネリック医薬品に関するリスク、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性および品質に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、内部統制の整備等に関するリスク、ならびに災害等に関するリスク

目次

1. 連結財務ハイライト	1
2. 連結損益計算書	3
3. 連結キャッシュ・フロー計算書	5
4. セグメント情報	6
5. 連結業績予想(IFRS)	12
6. セグメント別売上収益予想(IFRS)	14
7. 連結貸借対照表	15
8. 連結四半期業績の推移	17
9. 主な連結業績項目の推移	21
10. 個別情報	22
11. 株式の状況	23
12. 従業員数	25
13. 主なニュースリリース	26
14. 主要開発品	29

- ・ 当資料中の数字は、切捨表示のある場合を除き四捨五入で表示しております。
- ・ 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりです。
- ・ 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)	中国 (円/人民元)
2011年3月期	期中平均レート	85.72	113.12	133.13	12.76
	期末日レート	83.15	117.57	133.89	12.68
2012年3月期	期中平均レート	79.08	108.97	126.22	12.36
	期末日レート	82.19	109.80	131.34	13.06
2013年3月期	期中平均レート	83.10	107.14	131.13	13.25
	期末日レート	94.05	120.73	143.16	15.16
2014年3月期	期中平均レート	100.23	134.36	159.44	16.41
	期末日レート	102.92	141.65	171.31	16.59
2015年3月期	予想レート	103.00	140.00	170.00	17.00

【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方にに基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

- ・ キャッシュ・インカム
成長投資、株主還元、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。
算式：当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額
＋減損損失（投資有価証券評価損含む）
- ・ 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）
算式：キャッシュ・インカム÷期中平均株式数（自己株式控除後）

【セグメント情報について】

当社グループは、セグメントを医薬品事業とその他事業に区分しており、2014年3月期より医薬品事業を構成する日本（医療用医薬品、ジェネリック医薬品、診断薬）、アメリカス（北米、中南米）、アジア（中国、韓国、台湾、インド、アセアン等）、EMEA（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）、薬粧-日本（一般用医薬品等）を報告セグメントとしております。これに伴い、本資料のセグメント情報に関する2013年3月期の数値を新しい報告セグメントに基づいて記載しております。なお、変更のあったセグメントの実績については一部2年分のみを記載しております。

【業績予想について】

当社は、2015年3月期第1四半期の連結財務諸表より、日本基準に替えて国際会計基準(IFRS)にて開示することとしております。このため、2015年3月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しており、日本基準に基づく連結業績予想は作成しておりません。

1. 連結財務ハイライト

1) 損益計算書項目

	(億円)				
	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
売上高	7,689	6,480	5,737	6,004	104.7
売上原価	1,678	1,734	1,741	1,882	108.1
研究開発費	1,450	1,251	1,204	1,305	108.4
販売費・一般管理費	3,430	2,537	2,087	2,105	100.9
営業利益	1,131	957	705	711	100.9
経常利益	1,052	900	656	649	99.0
当期純利益	674	585	483	330	68.3
調整当期純利益	—	—	—	461	95.4
キャッシュ・インカム	1,200	1,077	1,007	836	83.0
調整キャッシュ・インカム	—	—	—	954	94.7
包括利益	312	556	952	729	76.6
					(前期差)
純資産配当率 (DOE/%)	10.4	10.4	9.6	8.8	△0.9
自己資本当期純利益率 (ROE/%)	16.4	14.3	10.9	6.8	△4.1
配当性向 (DPR/%)	63.4	73.1	88.6	129.8	41.2
1株当たり配当金 (DPS/円)	150.0	150.0	150.0	150.0	—
1株当たり当期純利益 (EPS/円)	236.5	205.3	169.4	115.6*	△53.8
1株当たりキャッシュ・インカム (キャッシュEPS/円)	421.3	377.8	353.5	293.1*	△60.4
1株当たり調整キャッシュ・インカム (調整キャッシュEPS/円)	—	—	—	334.4*	△19.1

*役員報酬BIP信託として保有する当社株式105,400株を自己株式に含めて期中平均株式数から控除し、算出しております。

・構造改革関連損益および復興特別法人税の1年前倒し廃止に伴う税率変更の影響を除いた金額を調整当期純利益および調整キャッシュ・インカムとして表示しております。

・売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

	(億円)				
	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,232	906	732	857	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△588	△26	217	262	44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△680	△780	△818	△1,148	△330
現金及び現金同等物の期末残高	1,028	1,126	1,425	1,539	115
フリー・キャッシュ・フロー	1,003	714	545	664	119

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

3) 貸借対照表項目

	(億円)				
	2011年 3月末	2012年 3月末	2013年 3月末	2014年 3月末	増減額
総資産	10,463	10,047	9,902	9,455	△447
負債	6,359	5,812	5,159	4,346	△814
借入金	2,599	2,653	2,340	2,174	△167
社債	1,200	800	800	300	△500
純資産	4,104	4,234	4,743	5,109	366
自己資本	4,042	4,168	4,694	5,068	374
自己資本比率 (%)	38.6	41.5	47.4	53.6	6.2
負債比率 (Net DER/倍)	0.49	0.38	0.27	0.14	△0.13

・負債比率 (Net DER) = (有利子負債 (借入金 + 社債) - 現金 - 有価証券) / 自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	増減額
資本的支出額	237	207	205	256	51
有形固定資産	144	127	92	119	28
無形固定資産	93	80	113	136	23
減価償却費	435	417	433	391	△42

・減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) セグメント情報

(1) 報告セグメント別売上高

(億円)

	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
日本 医薬品事業	3,078	3,107	100.9
アメリカス 医薬品事業	1,533	1,589	103.6
米国 医薬品事業	1,530	1,583	103.4
アジア 医薬品事業	413	580	140.6
EMEA 医薬品事業	258	325	125.9
薬粧-日本 (一般用医薬品等)	211	215	102.2
その他	244	188	76.7
連結売上高	5,737	6,004	104.7

・外部顧客に対する売上高を示しております。

(2) 報告セグメント別利益

(億円)

	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
日本 医薬品事業	1,389	1,547	111.4
アメリカス 医薬品事業	357	303	84.9
アジア 医薬品事業	78	128	165.0
EMEA 医薬品事業	20	41	201.5
薬粧-日本 (一般用医薬品等)	39	43	111.1
その他	117	59	50.1
研究開発費	1,204	1,305	108.4
親会社の本社管理費等	91	103	113.5
連結営業利益	705	711	100.9

2. 連結損益計算書

(億円)						
	2013年 3月期	売上比 %	2014年 3月期	売上比 %	前期比 %	増減額
売上高	5,737	100.0	6,004	100.0	104.7	267
売上原価	1,741	30.3	1,882	31.3	108.1	141
売上総利益	3,996	69.7	4,122	68.7	103.2	126
研究開発費	1,204	21.0	1,305	21.7	108.4	102
販売費・一般管理費	2,087	36.4	2,105	35.1	100.9	18
人件費	684	11.9	741	12.3	108.4	57
販売費	927	16.2	810	13.5	87.3	△117
管理費他	477	8.3	555	9.2	116.4	78
営業利益	705	12.3	711	11.8	100.9	6
営業外収益	23	0.4	20	0.3		△2
営業外費用	72	1.2	82	1.4		10
経常利益	656	11.4	649	10.8	99.0	△6
特別利益	75	1.3	89	1.5		14
特別損失	17	0.3	156	2.6		140
税金等調整前当期純利益	714	12.5	582	9.7	81.5	△132
法人税、住民税及び事業税	306	5.3	173	2.9		△133
法人税等調整額	△77	△1.3	78	1.3		155
少数株主損益調整前当期純利益	485	8.5	332	5.5		△154
少数株主利益	3	0.0	2	0.0		△0
当期純利益	483	8.4	330	5.5	68.3	△153
調整当期純利益	—	—	461	7.7	95.4	△22

・売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

・構造改革関連損益および復興特別法人税の1年前倒し廃止に伴う税率変更の影響を除いた金額を調整当期純利益として表示しております。

<キャッシュ・インカム>

当期純利益	483	8.4	330	5.5	68.3	△153
有形・無形固定資産減価償却費	249		251		100.7	2
買収に伴う無形固定資産減価償却費	183		140		76.2	△44
のれん償却額	78		95		120.7	16
減損損失（投資有価証券評価損含む）	14		21		152.2	7
キャッシュ・インカム	1,007	17.6	836	13.9	83.0	△172
調整キャッシュ・インカム	—	—	954	15.9	94.7	△54

・構造改革関連損益および復興特別法人税の1年前倒し廃止に伴う税率変更の影響を除いた金額を調整キャッシュ・インカムとして表示しております。

<コメント>

売上高の増加	<ul style="list-style-type: none"> 成長ドライバーであるヒュミラ、ハラヴェン、リリカ、てんかん領域製品などの売上高伸長 中国をはじめとするアジア医薬品事業、日本医薬品事業におけるジェネリック医薬品の成長 DNAメチル化阻害剤「Dacogen」の権利譲渡に伴う収入を計上
売上原価率の上昇	<ul style="list-style-type: none"> アリセプト、パリエット/アシフェックスの売上高減少に伴う品目ミックスの変化
研究開発費の増加	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究開発テーマの進捗に伴うマイルストーン支払い、肥満症治療剤「lorcaserin」のグローバル開発・販売権獲得に伴う一時金支払いなどによる増加 バイオジェン・アイデック社との共同開発契約締結に伴う一時金収入の発生
販売費の減少	<ul style="list-style-type: none"> 共同販促パートナーへの提携費用の減少
当期純利益の減少	<ul style="list-style-type: none"> グローバルでの構造改革に伴う特別損益の発生 復興特別法人税廃止の1年前倒しに伴う税率変更による税金費用の増加

<連結包括利益計算書>

(億円)

	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %	増減額
少数株主損益調整前当期純利益	485	332	68.4	△154
その他の包括利益	466	397	85.2	△69
その他有価証券評価差額金	31	19		△12
繰延ヘッジ損益	1	3		2
為替換算調整勘定	434	375		△59
包括利益	952	729	76.6	△223
(内訳)				
親会社株主に係る包括利益	950	727	76.6	△223
少数株主に係る包括利益	2	2	103.4	0

3. 連結キャッシュ・フロー計算書

	(億円)		
	2013年 3月期	2014年 3月期	増減額
税金等調整前当期純利益	714	582	△132
減価償却費・のれん償却額	511	485	△26
負ののれん発生益	△20	△2	17
固定資産除売却損益	△4	△28	△24
事業譲渡益	-	△14	△14
退職給付信託設定益	△43	-	43
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	90	201	111
未払金・未払費用等の増減額	△250	17	267
その他	82	△141	△223
(小計)	1,081	1,100	19
利息等の受取及び支払額	△51	△40	11
法人税等の支払額	△298	△203	95
営業活動によるキャッシュ・フロー	732	857	125
資本的支出等(キャッシュベース)	△186	△193	△6
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	14	64	50
事業譲渡による収入	-	126	126
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	9	9
過年度子会社株式売却代金の回収による収入	61	-	△61
3カ月超預金の純増減額	320	249	△71
その他	9	6	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	217	262	44
短期借入金の純増減額	16	△14	△30
長期借入金の返済による支出	△400	△200	200
社債の償還による支出	-	△500	△500
配当金の支払額	△427	△428	△0
その他	△6	△6	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△818	△1,148	△330
現金及び現金同等物に係る換算差額	168	144	△24
現金及び現金同等物の増減額	299	115	△184
現金及び現金同等物の期首残高	1,126	1,425	299
現金及び現金同等物の期末残高	1,425	1,539	115
フリー・キャッシュ・フロー	545	664	119
・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))			

<コメント>

■営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・運転資本の減少および法人税等の支払額の減少

■投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・事業譲渡および社債の満期償還の原資として3カ月超預金の取崩による収入

■財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・社債の満期償還、長期借入金返済、配当金の支払いによる支出

4. セグメント情報

1) 日本 医薬品事業

(億円)

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
売上高			3,078	3,107	100.9
セグメント利益			1,389	1,547	111.4

日本 医薬品売上高明細

日本 売上高

医療用医薬品	3,111	3,312	2,822	2,813	99.7
ジェネリック医薬品（エルメッド エーザイ）	124	137	196	234	119.3
診断薬（エーディア）	61	60	60	60	99.8

日本 医療用医薬品 主力品売上高

アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	1,055	1,083	724	650	89.8
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	602	609	501	473	94.6
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	133	205	241	288	119.2
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	304	300	261	252	96.4
疼痛治療剤（神経障害性疼痛・線維筋痛症） リリカ	28	113	139	194	140.2
経口抗凝固剤 ワーファリン	96	99	101	97	96.6
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	115	110	91	77	84.9
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	114	100	78	67	85.8
抗がん剤 ハラヴェン	—	31	55	64	117.2

・パリエットの売上高には、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせバック製剤「ラベキュアバック400/800」および「ラベファインバック」の売上高を含めております。

・リリカの売上高は共同販促収入です。

2) アメリカス 医薬品事業 (北米、中南米)

		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
売上高	億円		1,575	1,533	1,589	103.6 <86.0>
セグメント利益	億円		333	357	303	84.9
アメリカス 主力品売上高						
制吐剤 Aloxi	億円		345	367	429	116.8 <96.8>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	346 (403)	345 (436)	367 (442)	429 (428)	116.8 <96.8>
プロトンポンプ阻害剤 アシフェックス	億円 (百万米ドル)	656 (765)	559 (707)	514 (618)	377 (376)	73.4 <60.8>
DNAメチル化阻害剤 Dacogen	億円 (百万米ドル)	162 (189)	173 (219)	193 (232)	135 (134)	69.7 <57.8>
抗がん剤 ハラヴェン	億円		109	116	134	114.7 <95.2>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	22 (25)	109 (137)	116 (139)	131 (130)	112.8 <93.5>
てんかん治療剤 Banzel	億円		44	52	76	147.0 <122.0>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	34 (40)	44 (55)	51 (62)	75 (75)	146.6 <121.5>
血液凝固阻害剤 Fragmin	億円 (百万米ドル)	164 (191)	139 (176)	97 (116)	60 (60)	62.3 <51.6>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円 (百万米ドル)	1,534 (1,790)	114 (144)	110 (133)	39 (39)	35.7 <29.6>
肥満症治療剤 BELVIQ	億円 (百万米ドル)	— —	— —	— —	25 (25)	— —
てんかん治療剤 Fycompa	億円		—	—	8	— —
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	— —	— —	— —	7 (7)	— —

- アリセプトの2014年3月期の売上高のうち、アリセプト錠23mgの売上高は27億円 (27百万米ドル) です。
- Dacogen、Fragmin、BELVIQの販売国は米国のみです。また、アシフェックス、アリセプトの自社販売国は米国のみです。
- 前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

3) アジア 医薬品事業 (中国、韓国、台湾、インド、アセアン等)

		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
売上高	億円			413	580	140.6 <115.8>
中国 売上高	億円	141	169	218	318	145.6 <117.6>
セグメント利益	億円			78	128	165.0
アジア 主力品売上高						
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	億円			104	161	155.5 <127.2>
中国 医療用医薬品	億円 (百万人民元)	60 (474)	75 (605)	90 (681)	138 (844)	153.4 <123.8>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円			81	120	148.2 <121.8>
中国 医療用医薬品	億円 (百万人民元)	13 (99)	16 (131)	22 (163)	38 (234)	178.3 <144.0>
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	億円			49	68	138.8 <114.3>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円			43	57	132.0 <110.3>
中国 医療用医薬品	億円 (百万人民元)	11 (86)	12 (95)	13 (99)	22 (135)	169.0 <136.5>
肝臓疾患用剤・アレルギー用薬 強力ネオミノファージェンシー／グリチロン錠	億円			53	55	103.3 <83.4>
中国 医療用医薬品	億円 (百万人民元)	30 (234)	37 (303)	53 (397)	54 (331)	103.2 <83.3>
抗がん剤 ハラヴェン	億円			1	5	476.5 <408.5>

* 前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

4) EMEA 医薬品事業（欧州、中東、アフリカ、オセアニア）

		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
売上高	億円			258	325	125.9 <101.6>
セグメント利益	億円			20	41	201.5
EMEA 主力品売上高						
抗がん剤 ハラヴェン	億円			54	87	161.1 <129.4>
てんかん治療剤 ゾネグラン	億円			48	67	139.9 <112.2>
てんかん治療剤 Zebinix	億円			18	25	137.8 <110.2>
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	億円			27	18	65.8 <52.6>
てんかん治療剤 Fycompa	億円			5	14	256.9 <208.0>
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	億円			27	7	24.7 <20.3>

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

5) 薬粧-日本（一般用医薬品等）

		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
売上高		207	217	211	215	102.2
セグメント利益				39	43	111.1
薬粧-日本 主力ブランド売上高						
ビタミンB2主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ		99	113	112	120	107.4

6) 主力品売上高

(1) がん関連領域製品

		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
がん関連領域製品計	億円	803	931	1,004	1,009	100.5 <85.0>
ハラヴェン (抗がん剤)	億円	22	160	226	289	128.0 <110.1>
日本	億円	—	31	55	64	117.2
アメリカス	億円		109	116	134	114.7 <95.2>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	22 (25)	109 (137)	116 (139)	131 (130)	112.8 <93.5>
アジア	億円			1	5	476.5 <408.5>
EMEA	億円			54	87	161.1 <129.4>
Aloxi (制吐剤)	億円	346	345	367	429	116.8 <96.8>
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	346 (403)	345 (436)	367 (442)	429 (428)	116.8 <96.8>
Dacogen (DNAメチル化阻害剤)	億円 (百万米ドル)	162 (189)	173 (219)	193 (232)	135 (134)	69.7 <57.8>
Fragmin (血液凝固阻害剤)	億円 (百万米ドル)	164 (191)	139 (176)	97 (116)	60 (60)	62.3 <51.6>
トレアキシシン/シンベンダ (抗がん剤)	億円	8	32	35	39	110.9 <109.9>
その他	億円	102	82	86	56	66.0 <56.2>

・Dacogen、Fragminの販売国は米国のみです。

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

(2) パリエット/アシフェックス (プロトンポンプ阻害剤)

		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
パリエット/アシフェックス計	億円	1,369	1,264	1,084	914	84.3 <77.4>
日本	億円	602	609	501	473	94.6
アメリカス	億円 (百万米ドル)	656 (765)	559 (707)	514 (618)	377 (376)	73.4 <60.8>
アジア	億円			43	57	132.0 <110.3>
EMEA	億円			27	7	24.7 <20.3>

・日本のパリエットの売上高には、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファイソパック」の売上高を含めております。

・アメリカスでは、米国のみがアシフェックスの自社販売国になります。

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

(3) アリセプト (アルツハイマー型認知症治療剤)

		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
アリセプト計	億円	2,904	1,471	943	827	87.8 <84.4>
日本	億円	1,055	1,083	724	651	89.8
アメリカス	億円 (百万米ドル)	1,534 (1,790)	114 (144)	110 (133)	39 (39)	35.7 <29.6>
アジア	億円			81	120	148.2 <121.8>
EMEA	億円			27	18	65.8 <52.6>

・アメリカスでは、米国のみがアリセプト自社販売国になります。
・前年同期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

(4) ヒュミラ (ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体)

		2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
ヒュミラ計	億円	166	240	290	356	122.5 <118.4>
日本	億円	133	205	241	288	119.2
アジア	億円			49	68	138.8 <114.3>

・前期比の<>内は為替の影響を除いた数値を示しております。

7) 海外売上高

(億円)

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比 %
海外売上高	4,014	2,583	2,316	2,437	105.3
海外売上高比率 (%)	52.2	39.9	40.4	40.6	—

・外部顧客に対する売上高を示しております。

5. 連結業績予想(IFRS)

当社は、2015年3月期第1四半期の連結財務諸表より、日本基準に替えて国際会計基準(IFRS)にて開示することとしております。このため、2015年3月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しており、日本基準に基づく予想は作成しておりません。なお、2014年3月期実績(IFRS)を参考値として表示しておりますが、監査手続は終了しておりません。

2015年3月期連結業績予想

(億円)

	2014年3月期 (参考値)	構成比 %	2015年3月期 (予想)	構成比 %	前期比 %	増減額
売上収益	5,995	100.0	5,660	100.0	94.4	△335
売上原価	1,947	32.5	2,000	35.3	102.7	53
研究開発費	1,363	22.7	1,215	21.5	89.1	△148
販売費・一般管理費等	2,021	33.7	1,915	33.8	94.7	△106
営業利益	664	11.1	530	9.4	79.8	△134
当期利益	385	6.4	350	6.2	90.9	△35

(前期差)

親会社所有者帰属持分配当率 (DOE/%)	8.5		8.2			△0.3
親会社所有者帰属持当期利益率 (ROE/%)	7.6		6.7			△0.9
配当性向 (DPR/%)	111.8		122.6			10.8
1株当たり配当金 (DPS/円)	150.0		150.0			—
1株当たり当期利益 (EPS/円)	134.1		122.4			△11.8

(億円)

	2014年3月期 (参考値)	2015年3月期 (予想)	増減額
資本的支出額	312	275	△37
有形固定資産	123	120	△3
無形資産	189	155	△34
減価償却費	400	376	△24

・減価償却費には無形資産に対する償却費を含めて表示しております。

<日本基準とIFRSの比較>

日本基準からIFRSへの移行が、当社グループの経営成績に与える影響

2014年3月期連結損益計算書

(億円)

日本基準		差異	参考値	IFRS	
勘定科目	実績			勘定科目	
売上高	6,004	△9	5,995	売上収益 ※1	
売上原価	1,882	+65	1,947	売上原価 ※2	
売上総利益	4,122	△74	4,048	売上総利益	
研究開発費	1,305	+58	1,363	その他の収益 ※3	
販売費・一般管理費	2,105	△72	2,033	研究開発費 ※4	
		+28	28	販売費・一般管理費 ※5	
営業利益	711	△47	664	その他の費用 ※6	
営業外損益	△62	+62		営業利益	
特別損益	△67	+67			
法人税他	253	△15	238	金融損益 ※7	
当期純利益	330	+55	385	法人所得税	
				当期利益 ※8	

《主要な差異項目の説明》

※1 売上収益

- 日本基準の販売費・一般管理費にて表示している販売促進費の一部について、IFRSでは売上から控除しているため、売上収益が21億円減少しております。

※2 売上原価

- 日本基準では、開発品に係るライセンス導入契約等の契約金一時金およびマイルストーンペイメントの支払は研究開発費として費用処理しておりますが、IFRSでは資産計上しております。これに伴い、IFRSでは日本基準と比べて販売権の償却費が増加するため、売上原価が11億円増加しております。
- 構造改革費用（日本基準では特別損失）のうち生産部門の費用は、IFRSでは売上原価として表示しているため、売上原価が53億円増加しております。

※3 その他の収益

- 日本基準で特別利益として表示している固定資産売却益等は、IFRSではその他の収益として表示しております。

※4 研究開発費

- 日本基準では、開発品に係るライセンス導入契約等の契約金一時金およびマイルストーンペイメントの支払は研究開発費として費用処理しておりますが、IFRSでは資産（IPR&D資産）として計上するため、研究開発費が53億円減少しております。
- IFRSでは、IPR&D資産について年1回の減損テストを実施しております。事業環境や研究開発の状況変化等を踏まえて、IPR&D資産の将来キャッシュ・フロー見積額が帳簿価額を下回る場合、回収可能価額まで減額し減損損失を計上しております。IPR&D資産の減損損失は研究開発費で表示しているため、研究開発費が51億円増加しております。
- 日本基準では、研究開発施設および販売権の減損損失18億円は特別損失として表示しておりますが、IFRSでは研究開発費として表示しております。また、構造改革費用（日本基準では特別損失）のうち研究開発部門の費用は、IFRSでは研究開発費として表示しているため、研究開発費が29億円増加しております。

※5 販売費・一般管理費

- 日本基準では、のれんを償却しておりますが、IFRSでは非償却となるため、販売費・一般管理費が95億円減少しております。
- 日本基準では、販売促進費の一部を販売費・一般管理費で表示しておりますが、IFRSでは売上から控除しているため、販売費・一般管理費が21億円減少しております。
- 構造改革費用（日本基準では特別損失）のうち販売および管理部門の費用は、IFRSでは販売費・一般管理費として表示しているため、販売費・一般管理費が51億円増加しております。

※6 その他の費用

- 日本基準で営業外費用として表示している為替差損等は、IFRSではその他の費用として表示しております。

※7 金融損益

- 日本基準では、営業外収益として表示している受取利息・配当金、営業外費用として表示している支払利息は、IFRSでは金融収益または金融費用として表示しております。

※8 当期利益

- 日本基準の当期純利益は、少数株主利益2億円を含めておりませんが、IFRSの当期利益は非支配持分（日本基準の少数株主損益）を含めております。

6. セグメント別売上収益予想(IFRS)

2015年3月期セグメント別売上収益予想

(億円)

	2014年3月期 (参考値)	2015年3月期 (予想)
日本	3,110	3,075
医療用医薬品	2,816	2,740
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	650	595
プロトンポンプ阻害剤 パリエット	473	420
ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体 ヒュミラ	288	305
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	252	230
経口抗凝固剤 ワーファリン	97	90
抗がん剤 ハラヴェン	64	90
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	77	70
不眠症治療薬 ルネスタ	29	65
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	67	60
ジェネリック医薬品(エルメッド エーザイ)	234	275
診断薬(エーディア)	60	60
アメリカス	1,589	1,115
米国	1,583	1,100
アジア	580	675
中国	318	380
EMEA	320	400
薬粧-日本(一般用医薬品等)	193	210
ビタミンB ₂ 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	120	125
その他	202	185
連結売上収益	5,995	5,660
主要品目グローバル売上収益		
パリエット/アシフェックス	914	530
アリセプト	827	755
ハラヴェン	288	390
日本	64	90
アメリカス	134	155
アジア	5	10
EMEA	85	135
Fycompa	21	95
アメリカス	8	70
アジア	-	0
EMEA	13	25

7. 連結貸借対照表

1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2013年 3月末	構成比 %	2014年 3月末	構成比 %	前期比 %	増減額
流動資産	5,307	53.6	5,034	53.2	94.9	△273
現金及び預金	887		994			107
受取手形及び売掛金	1,855		1,740			△115
有価証券	988		754			△234
たな卸資産	876		881			5
繰延税金資産	471		411			△60
その他	232		255			23
貸倒引当金	△1		△1			0
固定資産	4,595	46.4	4,421	46.8	96.2	△174
有形固定資産	1,422	14.4	1,314	13.9	92.4	△108
建物及び構築物	859		824			△35
その他	563		490			△73
無形固定資産	2,360	23.8	2,348	24.8	99.5	△12
のれん	1,273		1,297			23
販売権	514		486			△29
技術資産	437		443			5
その他	135		123			△12
投資その他の資産	812	8.2	758	8.0	93.3	△54
投資有価証券	343		333			△10
退職給付に係る資産	—		44			44
繰延税金資産	407		309			△98
その他	63		74			11
貸倒引当金	△1		△1			0
資産合計	9,902	100.0	9,455	100.0	95.5	△447

<コメント>

■資産合計

- ・社債500億円の満期償還および長期借入金2億米ドルの返済による現預金及び有価証券の減少
- ・美里工場の事業譲渡に伴う有形固定資産の減少
- ・将来減算一時差異の解消や税率変更等に伴う繰延税金資産の減少

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2013年 3月末	構成比 %	2014年 3月末	構成比 %	前期比 %	増減額
流動負債	2,157	21.8	1,941	20.5	90.0	△217
支払手形及び買掛金	261		269			9
短期借入金	76		62			△14
1年内返済予定の長期借入金	188		453			265
1年内償還予定の社債	500		—			△500
未払金・未払費用	821		895			74
未払法人税等	74		39			△35
売上割戻引当金	157		131			△25
その他	81		91			10
固定負債	3,002	30.3	2,405	25.4	80.1	△597
社債	300		300			0
長期借入金	2,076		1,659			△417
繰延税金負債	196		175			△21
退職給付引当金	138		—			△138
退職給付に係る負債	—		71			71
その他	291		200			△92
負債合計	5,159	52.1	4,346	46.0	84.2	△814
株主資本	5,325	53.8	5,232	55.3	98.3	△93
資本金	450		450			—
資本剰余金	569		570			1
利益剰余金	4,697		4,599			△98
自己株式	△390		△386			4
その他の包括利益累計額	△632	△6.4	△165	△1.7	—	467
その他有価証券評価差額金	43		63			19
繰延ヘッジ損益	△10		△7			3
為替換算調整勘定	△665		△290			375
退職給付に係る調整累計額	—		69			69
新株予約権	11	0.1	11	0.1	101.1	0
少数株主持分	39	0.4	31	0.3	79.9	△8
純資産合計	4,743	47.9	5,109	54.0	107.7	366
負債純資産合計	9,902	100.0	9,455	100.0	95.5	△447

<コメント>

■負債合計

- ・社債500億円の満期償還および長期借入金2億米ドルの返済による減少

■純資産合計

- ・円安による海外子会社純資産の円換算額の増加
- ・新退職給付会計基準による退職給付に係る調整累計額の計上

8. 連結四半期業績の推移

1) 損益計算書項目

(億円)

	2013年3月期				2014年3月期			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
売上高	1,469	1,416	1,431	1,421	1,542	1,532	1,406	1,523
売上原価	432	418	432	460	463	470	483	466
研究開発費	284	291	298	331	396	308	358	244
販売費・一般管理費	562	525	533	467	542	543	490	531
営業利益	191	182	168	163	142	212	74	283
経常利益	179	166	157	154	129	199	65	257
四半期純利益	119	126	95	143	94	182	18	35
キャッシュ・インカム	243	259	228	279	219	301	143	173
四半期包括利益	△11	85	437	440	261	181	333	△45
1株当たり四半期純利益 (EPS/円)	41.7	44.2	33.4	50.0	33.0*	64.0*	6.5*	12.1*
1株当たりキャッシュ・インカム (キャッシュEPS/円)	85.1	90.8	79.9	97.7	76.8*	105.6*	50.1*	60.5*

*役員報酬BIP信託として保有する当社株式105,400株を自己株式に含めて期中平均株式数から控除し、算出しております。

・売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2013年3月期				2014年3月期			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	283	86	166	197	123	289	177	268
投資活動によるキャッシュ・フロー	72	242	△104	8	290	△85	△35	91
財務活動によるキャッシュ・フロー	△206	△426	23	△210	△821	△57	△78	△192
現金及び現金同等物の期末残高	1,233	1,123	1,333	1,425	1,083	1,228	1,409	1,539
フリー・キャッシュ・フロー	223	33	134	156	27	290	120	228

・フリー・キャッシュ・フロー＝(営業活動によるキャッシュ・フロー)－(資本的支出等(キャッシュベース))

3) 貸借対照表項目

(億円)

	2013年3月期				2014年3月期			
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末
総資産	9,772	9,219	9,682	9,902	9,398	9,522	9,788	9,455
負債	5,777	5,158	5,383	5,159	4,621	4,573	4,705	4,346
借入金	2,661	2,226	2,255	2,340	2,275	2,218	2,274	2,174
社債	800	800	800	800	300	300	300	300
純資産	3,995	4,061	4,300	4,743	4,777	4,949	5,082	5,109
自己資本	3,929	4,014	4,252	4,694	4,727	4,909	5,041	5,068
自己資本比率 (%)	40.2	43.5	43.9	47.4	50.3	51.5	51.5	53.6
負債比率 (Net DER/倍)	0.39	0.38	0.35	0.27	0.30	0.23	0.21	0.14

・負債比率 (Net DER) ＝ (有利子負債(借入金＋社債)－現預金－有価証券) / 自己資本

4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2013年3月期				2014年3月期			
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
資本的支出額	70	44	36	55	84	31	53	87
有形固定資産	13	22	15	41	15	22	14	69
無形固定資産	56	22	20	15	69	9	40	19
減価償却費	102	106	109	115	102	96	96	98

・減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

5) 主力品売上高

(1) がん関連領域製品

		2013年3月期				2014年3月期			
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
がん関連領域製品計	億円	252	233	253	266	271	267	237	234
ハラヴェン	億円	55	53	56	62	70	69	75	75
日本	億円	13	14	14	14	16	16	17	15
アメリカス	億円	31	27	27	31	33	32	34	34
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	31 (39)	27 (34)	27 (34)	31 (33)	32 (32)	32 (32)	33 (33)	34 (33)
アジア	億円	0	0	0	1	1	1	2	2
EMEA	億円	10	12	14	17	20	20	23	24
Aloxi	億円	95	84	93	96	103	111	108	107
米国 医療用医薬品	億円 (百万米ドル)	95 (119)	84 (107)	93 (114)	96 (103)	103 (105)	111 (112)	108 (107)	107 (104)
Dacogen	億円 (百万米ドル)	44 (55)	44 (55)	48 (59)	58 (63)	57 (58)	35 (35)	19 (19)	24 (23)
Fragmin	億円 (百万米ドル)	29 (36)	25 (32)	24 (30)	19 (19)	18 (18)	23 (24)	11 (10)	8 (8)
トリアキシン/シンベンダ	億円	9	9	9	8	10	10	10	9
その他	億円	20	19	24	22	13	18	14	11

・Dacogen、Fragminの販売国は米国のみです。

(2) パリエット/アシフェックス

		2013年3月期				2014年3月期			
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
パリエット/アシフェックス計	億円	285	248	288	264	299	289	162	165
日本	億円	131	127	128	115	128	124	118	104
アメリカス	億円 (百万米ドル)	132 (164)	102 (131)	144 (178)	136 (146)	155 (157)	151 (152)	28 (27)	43 (40)
アジア	億円	11	11	11	11	14	13	14	15
EMEA	億円	12	8	5	2	2	1	2	2

・日本のパリエットの売上高には、ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤組み合わせパック製剤「ラベキュアパック400/800」および「ラベファインパック」の売上高を含めております。

・アメリカスでは、米国のみがアシフェックスの自社販売国になります。

(3) アリセプト

		2013年3月期				2014年3月期			
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
アリセプト計	億円	273	262	201	207	232	221	211	164
日本	億円	217	186	157	164	183	173	167	128
アメリカス	億円 (百万米ドル)	24 (30)	51 (64)	19 (23)	17 (16)	15 (16)	13 (13)	9 (9)	1 (1)
アジア	億円	20	19	20	22	29	30	29	31
EMEA	億円	12	6	5	4	4	5	5	4

・アメリカスでは、米国のみがアリセプト自社販売国になります。

(4) ヒュミラ

		2013年3月期				2014年3月期			
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期
ヒュミラ計	億円	68	72	76	75	85	93	98	80
日本	億円	58	61	63	60	69	74	80	64
アジア	億円	11	11	13	14	16	18	18	15

9. 主な連結業績項目の推移

	(億円)									
	2005年 3月期	2006年 3月期	2007年 3月期	2008年 3月期	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期
<損益計算書項目>										
売上高	5,330	6,013	6,741	7,343	7,817	8,032	7,689	6,480	5,737	6,004
売上原価	985	1,045	1,093	1,188	1,525	1,607	1,678	1,734	1,741	1,882
研究開発費	783	932	1,083	2,254	1,561	1,791	1,450	1,251	1,204	1,305
販売費・一般管理費	2,694	3,078	3,512	3,723	3,814	3,769	3,430	2,537	2,087	2,105
営業利益	868	957	1,053	177	918	864	1,131	957	705	711
経常利益	891	1,000	1,105	189	826	797	1,052	900	656	649
当期純利益(△損失)	555	634	706	△170	477	403	674	585	483	330
キャッシュ・インカム			976	1,069	1,190	1,264	1,200	1,077	1,007	836
<キャッシュ・フロー計算書項目>										
営業活動によるキャッシュ・フロー	492	871	812	732	1,050	1,079	1,232	906	732	857
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375	△295	△552	△4,764	△550	△698	△588	△26	217	262
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167	△218	△406	3,754	△310	△492	△680	△780	△818	△1,148
フリー・キャッシュ・フロー	105	436	286	△4,159	593	529	1,003	714	545	664
<貸借対照表項目>										
資本金	450	450	450	450	450	450	450	450	450	450
総資産	6,627	7,472	7,921	11,239	11,482	11,019	10,463	10,047	9,902	9,455
自己資本	4,596	5,192	5,525	4,489	4,280	4,159	4,042	4,168	4,694	5,068
<資本的支出及び減価償却費>										
資本的支出額	490	370	520	4,340	473	287	237	207	205	256
減価償却費	224	250	268	346	491	489	435	417	433	391
<経営指標>										
配当金総額(億円)	160	257	341	370	399	427	427	427	428	428
純資産配当率(%)	3.7	5.3	6.4	7.4	9.1	10.1	10.4	10.4	9.6	8.8
配当性向(%)	29.0	40.6	48.4	—	83.7	105.9	63.4	73.1	88.6	129.8
売上高当期純利益率(%)	10.4	10.5	10.5	△2.3	6.1	5.0	8.8	9.0	8.4	5.5
自己資本当期純利益率(%)	12.6	13.0	13.2	△3.4	10.9	9.6	16.4	14.3	10.9	6.8
総資本利益率(%)	8.7	9.0	9.2	△1.8	4.2	3.6	6.3	5.7	4.8	3.4
総資本回転率(回)	0.8	0.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.7	0.6	0.6	0.6
自己資本比率(%)	69.4	69.5	69.7	39.9	37.3	37.7	38.6	41.5	47.4	53.6
負債比率(倍)	—	—	—	0.64	0.63	0.62	0.49	0.38	0.27	0.14
レバレッジ(倍)	1.4	1.4	1.4	2.5	2.7	2.6	2.6	2.4	2.1	1.9
1株当たり当期純利益(△損失)(円)	193.4	221.9	247.8	△59.8	167.3	141.6	236.5	205.3	169.4	115.6
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益(円)	193.3	221.6	247.5	—	167.3	141.6	236.5	205.3	169.3	115.5
1株当たりキャッシュ・インカム(円)			342.7	375.8	417.8	443.7	421.3	377.8	353.5	293.1
1株当たり配当金(円)	56.0	90.0	120.0	130.0	140.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0
株価純資産倍率(倍)	2.3	2.8	2.9	2.2	1.9	2.3	2.1	2.2	2.6	2.3
市場買付けによる自己株取得株数(万株)	197	—	200	—	—	—	—	—	—	—
市場買付けによる自己株取得金額(億円)	61	—	111	—	—	—	—	—	—	—
連結子会社数	38	40	45	63	50	49	50	48	48	47

*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(キャッシュベース))

*2010年3月期以降の潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、新しい基準で計算しております。

*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。なお、2009年3月期より定義を一部変更しております。

*キャッシュ・インカム=当期純損益+有形・無形固定資産減価償却費+インプロセス研究開発費+のれん償却額+減損損失(投資有価証券評価損含む)

*キャッシュ・インカムおよび1株当たりキャッシュ・インカムに関しては定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

*1株当たりキャッシュ・インカム=キャッシュ・インカム÷期中平均株式数(自己株式控除後)

*負債比率(ネットDER)=(有利子負債(借入金+社債)-現金-有価証券)÷自己資本

*レバレッジ=総資本÷自己資本

10. 個別情報

1) 個別財務ハイライト

(1) 損益計算書項目

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	(億円) 前期比 %
売上高	4,646	4,082	3,480	3,418	98.2
売上原価	918	947	978	1,000	102.3
研究開発費	1,274	1,163	1,110	1,247	112.3
販売費・一般管理費	1,318	1,303	1,005	809	80.5
営業利益	1,135	669	387	361	93.1
経常利益	1,069	629	349	317	90.8
当期純利益	734	424	276	124	45.0

・売上原価には返品調整引当金繰入（戻入）額を含めて表示しております。

(2) キャッシュ・フロー計算書項目

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	(億円) 増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,286	635	406	476	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△495	47	286	369	83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△677	△777	△566	△844	△278
現金及び現金同等物の期末残高	231	135	261	262	1
フリー・キャッシュ・フロー	1,161	523	289	390	101

・フリー・キャッシュ・フロー＝（営業活動によるキャッシュ・フロー）－（資本的支出等（キャッシュベース））

(3) 貸借対照表項目

	2011年 3月末	2012年 3月末	2013年 3月末	2014年 3月末	(億円) 増減額
総資産	9,837	9,427	8,917	8,341	△576
負債	4,565	4,141	3,752	3,449	△303
借入金	2,100	2,160	2,025	2,110	85
社債	1,200	800	800	300	△500
純資産	5,272	5,286	5,165	4,892	△273
自己資本	5,263	5,276	5,154	4,881	△273
自己資本比率（％）	53.5	56.0	57.8	58.5	0.7

2) 売上高の状況

	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期	2014年 3月期	(億円) 前期比 %
売上高	4,646	4,082	3,480	3,418	98.2
医療用医薬品	3,110	3,310	2,821	2,812	99.7
一般用医薬品等	209	219	212	217	102.1
工業所有権等収益	794	184	61	80	132.2
医薬品輸出	517	357	375	299	79.7
その他	16	12	12	10	88.4

11. 株式の状況

1) 発行株式数・株主数の状況

2014年3月31日現在

発行可能株式総数	発行済株式の総数	自己株式数	株主数	株主1人当たりの平均持株数
1,100,000,000株	296,566,949株	11,202,048	106,981	2,772株

・発行済株式の総数は自己株式数を含めて表示しております。

2) 大株主の状況

2014年3月31日現在

株主名	持株数	持株比率 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	18,649千株	6.29
日本生命保険相互会社	14,845千株	5.01
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	13,659千株	4.61
株式会社埼玉りそな銀行	8,300千株	2.80
ジェーピー モルガン チェース バンク 385147	6,188千株	2.09
エーザイ従業員持株会	5,640千株	1.90
株式会社みずほ銀行	5,398千株	1.82
公益財団法人内藤記念科学振興財団	4,207千株	1.42
ステート ストリート バンク ウェスト クライアント トリーティ ザ バンク オブ ニューヨーク 133522	3,902千株	1.32
	3,894千株	1.31

・自己株式は11,202千株（3.78%）であり、議決権がないため除いております。

・株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

3) 所有者別株主数推移

	2013年 3月末	構成比 %	2014年 3月末	構成比 %	増減
金融機関	170	0.2	185	0.2	15
金融商品取引業者（証券会社）	48	0.1	56	0.1	8
その他の法人	1,052	1.1	1,075	1.0	23
外国法人等	521	0.5	545	0.5	24
個人・その他	94,043	98.1	105,119	98.3	11,076
自己株式	1	0.0	1	0.0	0
合計	95,835	100.0	106,981	100.0	11,146

4) 所有者別所有株式数推移

	2013年 3月末	構成比 %	2014年 3月末	構成比 %	増減
金融機関	109,897千株	37.1	103,530千株	34.9	△6,366千株
金融商品取引業者（証券会社）	11,509千株	3.9	10,664千株	3.6	△844千株
その他の法人	23,619千株	8.0	23,668千株	8.0	48千株
外国法人等	66,072千株	22.3	68,279千株	23.0	2,206千株
個人・その他	73,996千株	25.0	79,222千株	26.7	5,225千株
自己株式	11,470千株	3.9	11,202千株	3.8	△268千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

・株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

5) 所有株数別株主数推移

	2013年 3月末	構成比 %	2014年 3月末	構成比 %	増減
100万株以上	48	0.1	47	0.0	△1
10万～100万株未満	153	0.2	152	0.1	△1
1万～10万株未満	994	1.0	1,051	1.0	57
1,000～1万株未満	18,785	19.6	20,619	19.3	1,834
100～1,000株未満	70,930	74.0	80,171	74.9	9,241
100株未満	4,925	5.1	4,941	4.6	16
合計	95,835	100.0	106,981	100.0	11,146

6) 所有株数別分布推移

	2013年 3月末	構成比 %	2014年 3月末	構成比 %	増減
100万株以上	170,939千株	57.6	164,091千株	55.3	△6,847千株
10万～100万株未満	48,214千株	16.3	47,250千株	15.9	△964千株
1万～10万株未満	22,636千株	7.6	24,303千株	8.2	1,666千株
1,000～1万株未満	37,565千株	12.7	41,571千株	14.0	4,006千株
100～1,000株未満	17,041千株	5.7	19,181千株	6.5	2,139千株
100株未満	170千株	0.1	169千株	0.1	△0千株
合計	296,566千株	100.0	296,566千株	100.0	—

・株式数は千株未満を切捨てて表示しております。

12. 従業員数

1) 連結従業員数

	(人)			
	2011年 3月末	2012年 3月末	2013年 3月末	2014年 3月末
連結期末従業員数	11,560	10,730	10,495	10,419
日本	5,636	5,472	5,320	5,200
米州	2,559	1,843	1,815	1,768
欧州	1,015	872	830	811
アジア他	2,350	2,543	2,530	2,640

2) 個別従業員数

	(人)			
	2011年 3月末	2012年 3月末	2013年 3月末	2014年 3月末
個別期末従業員数	4,322	4,184	4,050	4,003
生産	757	708	670	642
研究	1,196	1,062	1,013	981
販売・管理	2,369	2,414	2,367	2,380

・期末従業員数は、就業人員数（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む）を表示しております。

13. 主なニュースリリース

年月日	概要	
2013年4月	5日	・ロシアでの自社販売開始に向けてモスクワに医薬品販売会社を設立
	8日	・一般社団法人グローバルヘルス技術振興基金設立に参画 ー開発途上国向けの新薬開発を支援ー
	10日	・第104回米国がん研究会議で抗がん剤「ハラヴェン」の転移抑制効果に繋がる前臨床研究成果を発表
	17日	・中心循環系血管内塞栓促進用補綴材「ディーシー ピーズ」日本において製造販売承認取得
	25日	・中国に注射剤生産工場の新設を決定
	26日	・中国 四川省で発生した地震に対する支援について
2013年5月	7日	・欧州医薬品庁が抗がん剤「ハラヴェン」の適応追加申請を受理 ー転移性乳がんに対するより早期からの治療貢献をめざしてー
	8日	・米国において成人向け肥満症治療剤「BELVIQ」を新発売へ ー米国麻薬取締局によるスケジューリングが確定ー
	13日	・執行役報酬制度の改定に伴う業績連動型株式報酬制度の導入に関するお知らせ ・業績連動型株式報酬制度の導入に伴う第三者割当による自己株式処分に関するお知らせ
	17日	・第49回米国臨床腫瘍学会年次総会でがん領域の開発品・製品に関する最新試験データを発表
	24日	・ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」が日本において腸管型パーचेット病に関する効能・効果の承認取得ー日本において生物学的製剤で初の腸管型パーचेット病治療薬にー
	28日	・抗てんかん剤「イノベロン」を日本で新発売
	30日	・業績連動型株式報酬制度の導入に伴う第三者割当による自己株式処分完了に関するお知らせ ・定款の一部変更に関するお知らせ
	30日	・業績連動型株式報酬制度の導入に伴う第三者割当による自己株式処分完了に関するお知らせ
2013年6月	3日	・第49回米国臨床腫瘍学会年次総会において転移性乳がん患者様のQOLに関する「ハラヴェン」とカペシタピンとの比較検討結果を発表
	10日	・抗がん剤開発におけるクインタイルズ社との戦略的提携によりメラノーマ患者様におけるレンパチニブの治療効果を確認
	11日	・キレイはじける5つの力！＋カロリーオフ 「チョコラBBスパークリング ビタミンきゅっとレモン味」日本で新発売
	14日	・ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体「ヒュミラ」日本において中等症又は重症の潰瘍性大腸炎に関する効能・効果の承認取得
	17日	・英国ハットフィールド工場にグローバルに向けた包装施設拡大のための新たな投資を決定
	25日	・アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」の新たな剤形、ドライシロップ剤を日本で新発売 ・抗てんかん剤「Fycompa」についてドイツ国内の販売を一時中断へ ー本剤を必要とされる患者様のアクセスは確保ー
	25日	・抗てんかん剤「Fycompa」についてドイツ国内の販売を一時中断へ ー本剤を必要とされる患者様のアクセスは確保ー
2013年7月	19日	・連結子会社エーザイ生科研株式会社の株式の譲渡に関するお知らせ
	29日	・抗てんかん剤「Zonegran」の小児適応に関して欧州医薬品庁の医薬品委員会より承認勧告を受領
2013年8月	1日	・当社企業価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針（買収防衛策）の継続について
	21日	・プロトンポンプ阻害剤「バリエット」を含むヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用パック製剤として一次除菌用「ラベキュアパック400/ラベキュアパック800」、二次除菌用「ラベファインパック」の日本における製造販売承認を取得
	27日	・韓国で中等度・高度アルツハイマー型認知症に対する高用量製剤「アリセプト錠23mg」を新発売 ーアジア地域における認知症患者様へのさらなる貢献ー ・リンパ系フィラリア症治療薬「ジエチルカルバマジン」 世界保健機関より事前認定を取得 ーインド・バイザグの自社工場から世界 24 の蔓延国への供給を年内に開始ー
	29日	・横浜市と「認知症を地域で支えるまちづくり連携協定」を締結
2013年9月	11日	・約27倍吸収！高吸収型クルクミンを30mg配合 「セルパール ウコン27プラス顆粒」日本で新発売
	12日	・ロシアで初めての販売製品となる抗がん剤「Halaven」を新発売
	18日	・米国研究子会社H3 BiomedicineがSelvita社と新規抗がん剤の創出に向けた共同研究契約を締結
	25日	・社会的責任投資指数「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の対象銘柄に選定

・年月日はニュースリリース発信日を記載しております。

年 月 日	概 要		
2013年10月	1日	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年度欧州がん学会において抗がん剤「ハラヴェン」の新たな解析結果を発表 ・インドにおいて、抗がん剤「Halaven」を新発売 	
	3日	<ul style="list-style-type: none"> ・抗てんかん剤「Zonegran」の小児適応に関して欧州委員会より承認取得 	
	16日	<ul style="list-style-type: none"> ・米国において肥満症治療剤「BELVIQ」の情報提供体制を強化 	
	29日	<ul style="list-style-type: none"> ・リンパ系フィラリア症のグローバル制圧プログラムに、「ジエチルカルバマジン」の無償提供を開始ー初出荷は蔓延4カ国の600万人以上の人々に提供ー 	
	31日	<ul style="list-style-type: none"> ・アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」日本でレビー小体型認知症に関する効能・効果を追加申請 	
2013年11月	8日	<ul style="list-style-type: none"> ・肥満症治療剤「lorcaserin」の提携地域を全世界に拡大ー薬物治療を含めた体重管理のグローバルスタンダード確立をめざすー ・Broad Instituteと顧みられない熱帯病および結核の新薬開発に向けて共同研究契約を締結ーシャーガス病の新薬開発プロジェクトがGHIT Fundの助成金交付対象として採択ー 	
	12日	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリピンにおける台風30号による被害への救済支援について 	
	20日	<ul style="list-style-type: none"> ・“ウイルス対策の新習慣！” ウイルス・菌の付着を24時間防ぐ持続性防菌成分Etak配合ウエットクロス「クリスタルヴェール拭いて防菌24」日本で新発売 	
	25日	<ul style="list-style-type: none"> ・結核に対する革新的な創薬をめざすパートナーシップに参画 ・抗悪性腫瘍剤「ギリアデル脳内留置用剤7.7mg」の製造販売承認をノーベルファーマ社から承継 	
	28日	<ul style="list-style-type: none"> ・プロトンポンプ阻害剤「パリエット」日本で低用量アスピリン投与時における胃潰瘍または十二指腸潰瘍の再発抑制に関する効能・効果および新規剤型を追加申請 	
	29日	<ul style="list-style-type: none"> ・さらなる製品創出力強化に向けたエーザイプロダクトクリエーションシステムズ体制の改編について ・希望退職者の募集について ・美里工場における事業について武州製薬への事業譲渡契約を締結 	
	2013年12月	<ul style="list-style-type: none"> 5日 13日 	<ul style="list-style-type: none"> ・第36回サンアントニオ乳がんシンポジウムで抗がん剤「ハラヴェン」に関する最新データを発表 ・エーディア、AIA装置用の肝細胞癌診断補助マーカーPIVKA-II 測定用試薬「Eテスト「TOSOH」II (PIVKA-II)」を日本で新発売
	2014年1月	6日	<ul style="list-style-type: none"> ・米国において抗てんかん剤「Fycompa」を新発売
22日		<ul style="list-style-type: none"> ・花粉・ウイルス・菌のマスクへの付着を24時間防ぐ、持続性防菌成分Etak配合マスク用スプレー「クリスタルヴェールマスク 防菌24ミント」日本で新発売 	
27日		<ul style="list-style-type: none"> ・「世界で最も持続可能な100社」に2年連続で選定 	
2014年2月	3日	<ul style="list-style-type: none"> ・希望退職者の募集の結果に関するお知らせ ・中心循環系血管内塞栓促進用補綴材「ディーシー ピーズ」を日本で新発売 ・抗がん剤「レンパチニブ」が放射性ヨウ素治療抵抗性の分化型甲状腺がんを対象とした臨床第III相試験において無増悪生存期間を指標とする主要評価項目を達成 	
	13日	<ul style="list-style-type: none"> ・プロトンポンプ阻害剤「パリエット」を含むARIKAT[®]除菌用3剤組み合わせパック製剤ー次除菌用「ラベキュアパック400/ラベキュアパック800」、二次除菌用「ラベファインバック」を日本で新発売 	
2014年3月	5日	<ul style="list-style-type: none"> ・エーザイ株式会社とバイオジェン・アイデック・インクがアルツハイマー型認知症治療剤に関する共同開発・共同販促契約を締結ーアルツハイマー型認知症の病態進行を抑制する薬剤創出力を強化ー 	
	20日	<ul style="list-style-type: none"> ・Liverpool School of Tropical MedicineおよびUniversity of Liverpoolと抗ボルバキア菌作用に基づく新規フィラリア駆虫薬創出に向けた共同研究を開始ーGHIT Fundの助成金交付対象として採択ー 	
	25日	<ul style="list-style-type: none"> ・国際会計基準 (IFRS) の任意適用に関するお知らせ 	
	31日	<ul style="list-style-type: none"> ・米国子会社エーザイ・インクがDNAメチル化阻害剤「Dacogen」の権利を大塚製薬へ譲渡 	

・年月日はニュースリリース発信日を記載しております。

年 月 日	概 要
2014年4月	7日 ・ エナジードリンク「Joma」新発売ーハッピーの呪文をかけましようー
	15日 ・ エーザイ株式会社 代表執行役社長 内藤晴夫 英国より名誉大英勲章KBEを受章
	24日 ・ 開発途上国における顧みられない熱帯病とその制圧活動に関する総合情報サイト「エーザイ“医薬品アクセス”ナビゲーター」を開設
2014年5月	7日 ・ 筑波大学とエーザイがバイオマーカーを用いた炎症性腸疾患の新薬開発において産学共同開発を開始
	9日 ・ 次世代アルツハイマー型認知症治療剤について バイオジェン・アイデック社との共同開発・共同販促提携地域に日本を追加
	12日 ・ ドイツで抗てんかん剤「Fycompa」の追加有用性の再評価申請を提出

・年月日はニュースリリース発信日を記載しております。

14. 主要開発品

<自社開発品一覧>

品目	効能追加*	開発ステージ**	領域
承認取得品			
○ ティーシー ヒーズ (肝細胞がんに対する肝動脈塞栓療法)		(日) 承認	がん・支持療法
○ ソネグラン (部分てんかん小児適応)	効能	(欧) 承認	神経
○ ヒュミラ (腸管型ペーチェット病)	効能	(日) 承認	血管・免疫反応
○ ヒュミラ (潰瘍性大腸炎)	効能	(日) 承認	血管・免疫反応
○ バリエット (ヘリコクター・ピロリ除菌用3剤併用パック製剤)	剤形	(日) 承認	消化器・肝臓
申請中・申請準備中開発品			
cinitapride (機能性ディスペプシア)		(中) 申請	消化器・肝臓
○ アリセプト (レビー小体型認知症)	効能	(日) 申請	神経
○ ハラヴェン (乳がんセカンドライン)	効能	(欧) 申請	がん・支持療法
○ バリエット (低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制および5mg錠)	効能、剤形	(日) 申請	消化器・肝臓
◎ タンボコール (小児用細粒製剤)	剤形	(日) 申請	血管・免疫反応
臨床試験中開発品			
Fycopma (部分てんかん)		(日中ア) PⅢ	神経
E5501 (特発性血小板減少性紫斑病(ITP))		(米欧ア) PⅢ	血管・免疫反応
○ E5501 (手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症)		(米欧ア) PⅢ	血管・免疫反応
○ ハラヴェン (乳がんサードライン)		(中) PⅢ	がん・支持療法
E7080 (甲状腺がん)		(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
E7080 (肝細胞がん)		(日米欧中ア) PⅢ	がん・支持療法
MORAb-003 (プラチナ感受性卵巣がん)		(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
Fycopma (全般てんかん)	効能	(日米欧ア) PⅢ	神経
ハラヴェン (非小細胞肺癌がん)	効能	(日米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
ハラヴェン (肉腫)	効能	(米欧ア) PⅢ	がん・支持療法
○ ハラヴェン (HER2 陰性乳がんファースト/セカンドライン)	効能	(米) PⅢ	がん・支持療法
ティーシー ヒーズ (多血性腫瘍に対する血管塞栓療法)	効能	(日) PⅢ	がん・支持療法
アリセプト (高度アルツハイマー型認知症)	効能	(中) PⅢ	神経
イノベロン/BANZEL (レノックス・ガストー症候群の小児適応)	効能	(米欧) PⅢ	神経
○ バリエット (PPI 抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法)	効能	(日) PⅢ	消化器・肝臓
アリセプト (高用量製剤<23mg錠>)	用法、剤形	(日) PⅢ	神経
E0302 (筋萎縮性側索硬化症(ALS))		(日) PⅡ/Ⅲ	神経
AS-3201 (糖尿病性神経障害)		(米欧) PⅡ/Ⅲ	神経
BAN2401 (アルツハイマー型認知症)		(米欧) PⅡ	神経
○ E2006 (不眠症)		(米) PⅡ	神経
E5501 (C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症)		(米) PⅡ	血管・免疫反応
E6005 (アトピー性皮膚炎)		(日) PⅡ	血管・免疫反応
E7016 (メラノーマ)		(米) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (子宮内膜がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (メラノーマ)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (グリオーマ)		(米) PⅡ	がん・支持療法
E7080 (非小細胞肺癌がん)		(日米欧ア) PⅡ	がん・支持療法
E7820 (大腸がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-003 (非小細胞肺癌がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004 (メラノーマ)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004 (大腸がん)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-004 (肉腫)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
MORAb-009 (中皮腫)		(米欧) PⅡ	がん・支持療法
Fycopma (部分てんかん小児適応)	効能	(米欧) PⅡ	神経
○ アリセプト (ダウン症候群の退行様症状)	効能	(日) PⅡ	神経
ハラヴェン (肉腫)	効能	(日) PⅡ	がん・支持療法
ONTAK (メラノーマ)	効能	(米) PⅡ	がん・支持療法
バリエット (機能性ディスペプシア)	効能	(日) PⅡ	消化器・肝臓

* 効能：効能効果追加、用法：用法用量追加、剤形：剤形追加

** 日：日本、米：米国、欧：欧州、中：中国、ア：日本・中国を除くアジア P = Phase：臨床試験段階

- ・中国で申請していた「クレブジン」の慢性B型肝炎の適応については、非承認通知を受領したため、今後の開発方針を検討しております。
- ・マルチキナーゼ阻害剤「E6201」について、米欧においてフェーズⅡ試験段階にありました乾癬に係る適応を対象とした開発を中止いたしました。
- ・申請・開発方針を検討していました「ハラヴェン」の米国における乳がんセカンドラインの適応について、新たにHER2 陰性乳がんに対するファーストライン/セカンドライン適応のフェーズⅢ試験を開始しました。
- ・開発方針を検討していましたエンドトキシン拮抗剤「E5564」について、重症敗血症に係る適応を対象とした開発を中止いたしました。
- ・DNAメチル化阻害剤「Daocogen」について、米国でフェーズⅡ試験段階にありましたAML(急性骨髄性白血病)の小児適応を対象とした試験を終了しました。

○：2013年4月以降の進捗、◎：2014年1月以降の進捗

(1) がん・支持療法

製品名：**ハラヴェン** 開発品コード：**E7389** 一般名：**エリブリン** (抗がん剤/微小管ダイナミクス阻害剤)

【概要】 クロイソカイメン由来のハリコンドリンBの合成類縁体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。米国・シンガポール・欧州・日本・スイスなど、53カ国で承認を取得しています。

○	【効能・効果追加】乳がんセカンドライン	欧州	申請(2013年4月) 受理(同年4月)	注射剤	
○	乳がんサードライン	中国	PⅢ	注射剤	
○	【効能・効果追加】HER2陰性乳がんファースト/セカンドライン	米国	PⅢ	注射剤	
	【効能・効果追加】非小細胞肺がん	日米欧ア	PⅢ	2014年度申請予定	注射剤
	【効能・効果追加】肉腫	米欧ア 日本	PⅢ PⅡ	2015年度申請予定	注射剤

- ・申請・開発方針を検討していました米国における乳がんセカンドラインの適応拡大について、新たにHER2陰性乳がんに対するファーストライン/セカンドライン適応のフェーズⅢ試験を開始しました。
- ・非小細胞肺がんの申請予定時期を見直し、2013年度から2014年度に変更しました。
- ・肉腫の申請予定時期を見直し、2014年度から2015年度に変更しました。

開発品コード：**E7080** 一般名：**レンパチニブ** (抗がん剤/新規結合型選択的チロシンキナーゼ阻害剤)

【概要】 新規結合型選択的チロシンキナーゼ阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。

	甲状腺がん	日米欧ア	PⅢ	2014年度申請予定	経口剤
	肝細胞がん	日米欧中ア	PⅢ		経口剤
	子宮内膜がん	米欧	PⅡ		経口剤
	メラノーマ	米欧	PⅡ		経口剤
	グリオーマ	米国	PⅡ		経口剤
	非小細胞肺がん	日米欧ア	PⅡ		経口剤

- ・甲状腺がんの申請予定時期を見直し、2013年度から2014年度に変更しました。

開発品コード：**MORAb-003** 一般名：**ファルレツスマブ** (抗がん剤/ヒト化抗葉酸受容体 α モノクローナル抗体)

【概要】 葉酸受容体 α (FRA) に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

	プラチナ感受性卵巣がん	日米欧ア	PⅢ		注射剤
	非小細胞肺がん	米欧	PⅡ		注射剤

開発品コード：**MORAb-004** (抗がん剤/ヒト化抗エンドシアリンモノクローナル抗体)

【概要】 Tumor endothelial marker 1 (TEM-1)/エンドシアリンに対するヒト化IgG1抗体です。エンドシアリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

	メラノーマ	米欧	PⅡ		注射剤
	大腸がん	米欧	PⅡ		注射剤
	肉腫	米欧	PⅡ		注射剤

○：2013年4月以降の進捗、◎：2014年1月以降の進捗

開発品コード：MORAb-009 一般名：amatuximab (抗がん剤/キメラ型抗メソセリンモノクローナル抗体)

[概要] メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。

中皮腫

米欧 PII

注射剤

開発品コード：E7820 (抗がん剤/インテグリン α 2発現抑制剤)

[概要] 血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン α 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。

大腸がん

米欧 PII

経口剤

開発品コード：E7016 (抗がん剤/ポリADPリボースポリメラーゼ阻害剤)

[概要] ポリADPリボースポリメラーゼ (PARP) はDNA修復に関与する酵素です。PARP阻害剤は腫瘍細胞のDNA修復を阻害することによって抗腫瘍効果をあらわし、DNAに損傷を与える化学療法や放射線療法の効果を増強することを期待しています。

メラノーマ

米国 PII

経口剤

製品名：ONTAK 開発品コード：E7272 一般名：denileukin diftitox

(抗がん剤/インターロイキン2受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤)

[概要] インターロイキン2 (IL-2) の受容体結合部分とジフテリア毒素の融合タンパク製剤であり、細胞表面上のIL-2受容体と特異的に結合し、細胞内に移行したジフテリア毒素がタンパク質合成を阻害します。すでに米国でCD25 (IL-2受容体の構成要素) 陽性の皮膚T細胞リンパ腫治療剤として承認を取得しています。

【効能・効果追加】メラノーマ

米国 PII

注射剤

製品名：ディーシー ピーズ 開発品コード：E7040 (血管塞栓用ピース/医療機器)

[概要] 架橋化ポリビニルアルコール高分子からなる親水性の球状微粒子であり、注入用カテーテルを通じて目標とする血管を選択的に塞栓するための血管塞栓用ピースです。微細で均一な球状の粒子であるため、血管径や腫瘍の大きさ等の対象範囲に合わせた持続的な塞栓効果が期待できます。日本において、肝細胞癌患者に対する肝動脈塞栓療法を使用目的として承認を取得しています。

○ 肝細胞がんに対する肝動脈塞栓療法

日本 承認 (2013年4月)

血管塞栓材

【効能・効果追加】多血性腫瘍に対する血管塞栓療法

日本 PIII

2014年度申請予定

血管塞栓材

・DNAメチル化阻害剤「Dacogen」について、米国でフェーズII試験段階にありましたAML(急性骨髄性白血病)の小児適応を対象とした試験を終了しました。

(2) 神経

製品名：**アリセプト** 開発品コード：**E2020** 一般名：**ドネペジル** (アルツハイマー型認知症治療剤)

【概要】 神経伝達物質のアセチルコリンを分解する酵素であるアセチルコリンエステラーゼを阻害することにより、脳内アセチルコリン濃度を高め、アルツハイマー型認知症 (AD) の認知症症状の進行を抑制します。軽度および中等度のAD治療剤として、すでに世界90カ国以上で承認されており、米国、日本、カナダ、中南米やアジアの一部の国などでは高度ADにも承認されています。					
○	【効能・効果追加】 レビー小体型認知症	日本	申請 (2013年10月)	経口剤	
	【効能・効果追加】 高度アルツハイマー型認知症	中国	PⅢ	経口剤	
	【用法・用量、剤形追加】 高用量製剤<23mg錠>	日本	PⅢ	2014年度申請予定	経口剤
○	【効能・効果追加】 ダウン症候群の退行様症状	日本	PⅡ		経口剤

製品名：**Fycompa** 開発品コード：**E2007** 一般名：**ペランパネル** (AMPA受容体拮抗剤)

【概要】 グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。部分てんかんの併用療法に加え、全般てんかんの適応取得をめざした開発を進めています。欧州、米国およびカナダなど、38カ国で承認を取得しています。					
	部分てんかん	日中ア	PⅢ	2015年度申請予定	経口剤
	【効能・効果追加】 全般てんかん	日米欧ア	PⅢ	2014年度申請予定	経口剤
	【効能・効果追加】 部分てんかん小児適応	米欧	PⅡ		経口剤

・部分てんかんの申請予定時期を見直し、2014年度から2015年度に変更しました。また、日本の全般てんかんの申請は、部分てんかんと同時に2015年度に申請することを予定しています。

開発品コード：**AS-3201** 一般名：**ラニレスタット** (糖尿病合併症治療剤/アルドース還元酵素阻害剤)

【概要】 アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制します。糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性神経障害の治療剤として開発を進めています。					
	糖尿病性神経障害	米欧	PⅡ/Ⅲ		経口剤

製品名：**ゾネグラン** 開発品コード：**E2090** 一般名：**ソニサミド** (てんかん治療剤)

【概要】 幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。成人部分てんかんを対象に単剤および併用療法および小児部分てんかんを対象に併用療法の適応を取得しています。					
○	【効能・効果追加】 部分てんかん小児適応	欧州	承認 (2013年10月)		経口剤

開発品コード：**E0302** 一般名：**メコバラミン** (筋萎縮性側索硬化症)

【概要】 メコバラミン (生体内補酵素型ビタミンB ₁₂) 製剤であり、傷ついた末梢神経を修復する作用があります。すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われており、新たに、筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 治療剤をめざしています。					
	筋萎縮性側索硬化症 (ALS)	日本	PⅡ/Ⅲ	2014年度申請予定	注射剤

製品名：**イノベロン/BANZEL** 開発品コード：**E2080** 一般名：**ルフィナミド** (てんかん治療剤)

【概要】 新規構造のトリアゾール誘導体で、過剰電荷を帯びている脳内ナトリウムチャネルの活動を調節します。小児から発症する重篤な難治性てんかんの一つであるレノックス・ガストー症候群の併用療法に係る適応で、日本、欧州、米国で承認を取得しています。ブランド名は、日本、欧州では「イノベロン (Inovelon)」、米国では「BANZEL」です。					
	【効能・効果追加】 レノックス・ガストー症候群の小児適応	米欧	PⅢ		経口剤

開発品コード：**BAN2401** (アルツハイマー型認知症治療剤/ヒト化抗Aβプロトフィブリルモノクローナル抗体)

【概要】 アミロイドベータ (Aβ) プロトフィブリルに対するヒト化IgG1抗体です。神経毒性を呈することが報告されているAβプロトフィブリルを除去することで、アルツハイマー型認知症の進行を抑制することを期待しています。					
	アルツハイマー型認知症	米欧	PⅡ		注射剤

○：2013年4月以降の進捗、◎：2014年1月以降の進捗

開発品コード：E2006 (不眠症治療剤/オレキシン受容体拮抗剤)

【概要】新規作用機序の睡眠導入剤です。覚醒状態を維持するオレキシン受容体に拮抗することで、覚醒状態を鎮め、自然な睡眠の誘発を期待しています。

○ 不眠症 米国 PII 経口剤

(3) 血管・免疫反応

製品名：ヒュミラ 開発品コード：D2E7 一般名：アダリムマブ (ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体)

【概要】ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカインであるTNF α を中和します。日本では関節リウマチ、乾癬、クローン病、強直性脊椎炎、若年性特発性関節炎、関節の構造的損傷の防止、腸管型パーチェット病に加えて潰瘍性大腸炎の適応を取得しています。

○ 【効能・効果追加】腸管型パーチェット病 日本 承認(2013年5月) 注射剤

○ 【効能・効果追加】潰瘍性大腸炎 日本 承認(2013年6月) 注射剤

製品名：タンボコール 一般名：フレカイニド (頻脈性不整脈治療剤)

【概要】心筋のナトリウムチャネル遮断作用によって頻脈性不整脈を抑制します。成人における頻脈性不整脈(発作性心房細動・粗動、心室性)および小児における頻脈性不整脈(発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性)の適応を有しています。

◎ 【剤形追加】小児用細粒製剤 日本 申請(2014年1月) 経口剤

開発品コード：E5501/AKR-501 一般名：avatrombopag

(血小板減少症治療剤/トロンボポエチン受容体作動剤)

【概要】トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。

特発性血小板減少性紫斑病 (ITP) 米欧ア PIII 経口剤

○ 手術が予定されている慢性肝疾患における血小板減少症 米欧ア PIII 経口剤

C型肝炎に対するインターフェロン療法の実施および開始に支障をきたす血小板減少症 米国 PII 経口剤

開発品コード：E6005 (ホスホジエステラーゼ4阻害剤)

【概要】細胞内情報伝達物質サイクリックAMPの分解酵素であるホスホジエステラーゼ4の働きを阻害します。アトピー性疾患の諸症状を抑える治療薬となることを期待しています。

アトピー性皮膚炎 日本 PII 外用剤

- ・マルチキナーゼ阻害剤「E6201」について、米欧においてフェーズII試験段階にありました乾癬に係る適応を対象とした開発を中止いたしました。
- ・開発方針を検討していましたエンドトキシン拮抗剤「E5564」について、重症敗血症にかかる適応を対象とした開発を中止いたしました。

○：2013年4月以降の進捗、◎：2014年1月以降の進捗

(4) 消化器・肝臓

製品名：パリエット/アシフェックス 開発品コード：E3810 一般名：ラベプラゾール (プロトンポンプ阻害剤)

【概要】プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。			
○	【剤形追加】ヘリコバクター・ピロリ除菌用3剤併用パック製剤	日本 承認 (2013年8月)	経口剤
○	【効能・効果、剤形追加】低用量アスピリン投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制および5mg錠	日本 申請 (2013年11月)	経口剤
○	【効能・効果追加】PPI抵抗性逆流性食道炎に対する維持療法	日本 PⅢ	経口剤
	【効能・効果追加】機能性ディスペプシア	日本 PⅡ	経口剤

一般名：cinitapride (上部消化管機能改善剤)

【概要】消化管神経叢に存在する5-HT ₂ および5-HT ₄ 受容体を刺激することによりアセチルコリンの遊離を増大させ、上部消化管運動を改善します。また抗ドーパミン作用も有し、ドーパミン受容体を阻害することによりアセチルコリンの放出抑制を解除し上部消化管機能を改善します。			
	機能性ディスペプシア	中国 申請 (2011年10月)	経口剤

- ・中国で申請していた「クレブジン」の慢性B型肝炎の適応については、非承認通知を受領したため、今後の開発方針を検討しております。